



## 平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ジェイプロジェクト

コード番号 3063 URL <http://www.iproject.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 新田 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 林 芳郎

TEL 052-243-0026

四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	2,413	11.3	33	—	36	16.8	17	△63.8
24年2月期第1四半期	2,167	△6.8	△32	—	31	—	48	—

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 12百万円 (△73.5%) 24年2月期第1四半期 47百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	558.43	518.73
24年2月期第1四半期	1,591.57	1,476.64

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第1四半期	6,422	1,619	25.2	50,041.35
24年2月期	6,437	1,570	24.4	50,799.00

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 1,619百万円 24年2月期 1,570百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,872	5.3	84	53.9	50	△56.9	0	—	0.00
通期	10,007	5.2	262	19.4	197	△26.1	82	△33.1	2,553.48

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年2月期1Q	33,354 株	24年2月期	31,914 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年2月期1Q	1,000 株	24年2月期	1,000 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期1Q	31,399 株	24年2月期1Q	30,474 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要等もあって東日本大震災の影響による景気停滞から緩やかに回復しつつありますが、円高の長期化や電力の安定供給への懸念など、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、外食需要の持ち直し傾向は継続しておりますが、消費者意識として「食の安全」に対する重要性が一層高まっております。

このような環境のもと、当社グループでは、収益力を向上させるための取り組み「J-Value（ジェイバリュー）」として、①営業支援室のサポートによる店舗管理の徹底、②ゼネラルマネージャー制度の充実、③仕入業務の効率化の3点に引き続き注力いたしました。また、既存店売上高につきましては、東日本大震災の影響があった前年から大幅に改善し、客数、客単価ともに堅調に推移いたしました。出退店におきましては、2店舗を新規出店、1店舗を閉店し、平成24年5月末日現在の業態数及び店舗数は、46業態86店舗（国内85店舗、海外1店舗）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,413百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は33百万円（前年同期は営業損失32百万円）、経常利益は36百万円（同16.8%増）、四半期純利益は17百万円（同63.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 飲食事業

ゼネラルマネージャー制度の導入以降、FLコスト（売上原価及び人件費）の改善、収益力の向上に成果が得られてまいりましたので、同制度の充実、改善を図りました。また、仕入業務の効率化に取り組みました。

新規出店におきましては、平成24年3月に、タバスやパスタ、ピッツァなど充実の料理に豊富なお酒が楽しめるダイニングバーで、広々とした空間に大型スクリーンを完備し、パーティーや二次会、オリンピックなどのスポーツ観戦を意識した新業態「REGOLITH（れごりす）」（名古屋市西区）、豊富なワインと出来立て熱々の鉄板料理を仲間と共においおい囲む集いの酒場、カジュアルな店内で気軽にご来店いただける新業態「Gappo（がっぽ）」（東京都港区）の2店舗を新規出店いたしました。また、同年3月、契約期間満了に伴い「うな匠（うなしょう）セントレア」（愛知県常滑市）を閉店いたしました。

その結果、飲食事業における売上高は2,206百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は11百万円（前年同期は営業損失42百万円）となりました。

#### ② ブライダル事業

第2四半期にオープン予定の新バンケット「LUCENT Mariage Tower（るーせんとまりあーじゅたわー）」の開設準備を進めました。その結果、ブライダル事業における売上高は91百万円（前年同期比27.6%増）、営業利益は0百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

#### ③ 不動産事業

テナントビル「ダイヤモンドウェイ」や「G-SEVENS刈谷」などの賃貸収入等により、不動産事業における売上高は66百万円（前年同期比32.3%増）、営業利益は9百万円（同194.0%増）となりました。

#### ④ その他の事業

広告代理業及び卸売業等のその他の事業における売上高は168百万円（前年同期比27.9%増）、営業利益は7百万円（同23.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は6,422百万円（前連結会計年度末比15百万円減少）となり、負債は4,803百万円（同64百万円減少）、純資産は1,619百万円（同48百万円増加）となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が299百万円（前連結会計年度末比123百万円減少）、売掛金が306百万円（同48百万円増加）となり、前連結会計年度末に比べ総額で77百万円減少し882百万円となりました。

固定資産につきましては、新規出店等による有形固定資産の増加（前連結会計年度末比44百万円増加）、差入保証金の増加（同17百万円増加）を主な要因として、前連結会計年度末に比べ62百万円増加し5,539百万円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ173百万円減少し1,945百万円となりました。これは、買掛金が28百万円減少、短期借入金が70百万円減少、未払法人税等が40百万円減少、賞与引当金が19百万円減少したことなどが主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ109百万円増加し2,857百万円となりました。これは、長期借入金が126百万円増加したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、新株予約権の権利行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ18百万円増加、利益剰余金が17百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ48百万円増加し1,619百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、概ね計画どおりに堅調に推移いたしましたので、平成24年4月10日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきまして、現時点での修正はございません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	423,150	299,220
売掛金	257,785	306,752
有価証券	343	343
商品及び製品	250	262
原材料及び貯蔵品	60,249	61,497
その他	236,054	232,517
貸倒引当金	△17,412	△17,813
流動資産合計	960,420	882,779
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,593,196	2,543,765
土地	1,131,324	1,131,324
その他（純額）	236,447	330,494
有形固定資産合計	3,960,969	4,005,584
無形固定資産		
投資その他の資産	31,486	30,195
投資有価証券	12,149	11,219
差入保証金	1,269,486	1,287,266
その他	203,129	205,097
投資その他の資産合計	1,484,765	1,503,583
固定資産	5,477,220	5,539,363
資産合計	6,437,641	6,422,142

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	358,418	330,168
短期借入金	137,499	66,598
1年内返済予定の長期借入金	683,606	753,203
未払法人税等	65,449	24,902
賞与引当金	30,000	10,327
その他	843,492	759,975
流動負債合計	2,118,466	1,945,175
固定負債		
長期借入金	2,442,505	2,568,656
資産除去債務	51,721	52,429
その他	254,547	236,844
固定負債合計	2,748,775	2,857,930
負債合計	4,867,241	4,803,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,531	766,531
資本剰余金	678,531	696,531
利益剰余金	215,429	232,963
自己株式	△76,000	△76,000
株主資本合計	1,566,492	1,620,026
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,907	△988
その他の包括利益累計額合計	3,907	△988
純資産合計	1,570,400	1,619,037
負債純資産合計	6,437,641	6,422,142

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
売上高	2,167,954	2,413,076
売上原価	650,772	717,516
売上総利益	1,517,181	1,695,559
販売費及び一般管理費	1,549,231	1,661,869
営業利益又は営業損失(△)	△32,049	33,690
営業外収益		
受取利息	76	404
協賛金収入	71,378	5,912
設備賃貸料	3,410	1,133
為替差益	1,093	9,369
その他	7,881	6,443
営業外収益合計	83,840	23,263
営業外費用		
支払利息	16,335	14,118
その他	4,084	6,195
営業外費用合計	20,420	20,313
経常利益	31,369	36,640
特別利益		
固定資産売却益	92,499	579
貸倒引当金戻入額	16	—
特別利益合計	92,516	579
特別損失		
固定資産売却損	66	—
貸倒引当金繰入額	662	431
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	26,345	—
特別損失合計	27,074	431
税金等調整前四半期純利益	96,811	36,788
法人税等	48,310	19,254
少数株主損益調整前四半期純利益	48,501	17,534
四半期純利益	48,501	17,534



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	48,501	17,534
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△730	△4,896
その他の包括利益合計	△730	△4,896
四半期包括利益	47,771	12,637
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,771	12,637

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	ブライダル	不動産	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,986,736	71,710	44,867	2,103,313	64,640	2,167,954	—	2,167,954
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	19,878	—	5,106	24,984	67,176	92,161	△92,161	—
計	2,006,614	71,710	49,973	2,128,298	131,816	2,260,115	△92,161	2,167,954
セグメント利益又は損失(△)	△42,987	△801	3,129	△40,659	6,168	△34,491	2,441	△32,049

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額2,441千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	ブライダル	不動産	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,206,436	91,081	45,282	2,342,800	70,276	2,413,076	—	2,413,076
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	172	393	20,827	21,393	98,282	119,676	△119,676	—
計	2,206,609	91,475	66,110	2,364,194	168,558	2,532,752	△119,676	2,413,076
セグメント利益	11,586	692	9,200	21,479	7,623	29,102	4,587	33,690

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業、有料職業紹介業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額4,587千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。